

竹山地区

竹山地区別計画推進委員会

地域 竹山1~4丁目

区の南側に位置し、保土ヶ谷区に隣接している。

昭和40年代に開発された、集合住宅（竹山団地）が中心の丘陵地にある住宅地で、竹山中公園、竹山南公園等近隣公園や緑地などが整備されている。

コミュニティハウスや商店街など、活動や生活の拠点が整っている。

<主な関連施設>

最寄駅：鴨居駅（JR横浜線）

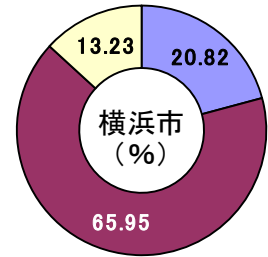
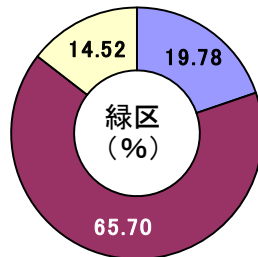
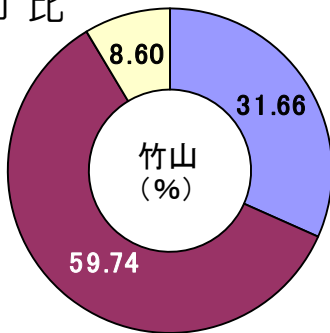
震災時避難場所（地域防災拠点）：竹山小学校

地域ケアプラザ等：横浜市鴨居地域ケアプラザ

<年齢区分別人口>

平成24年(2012年)9月末

人口比

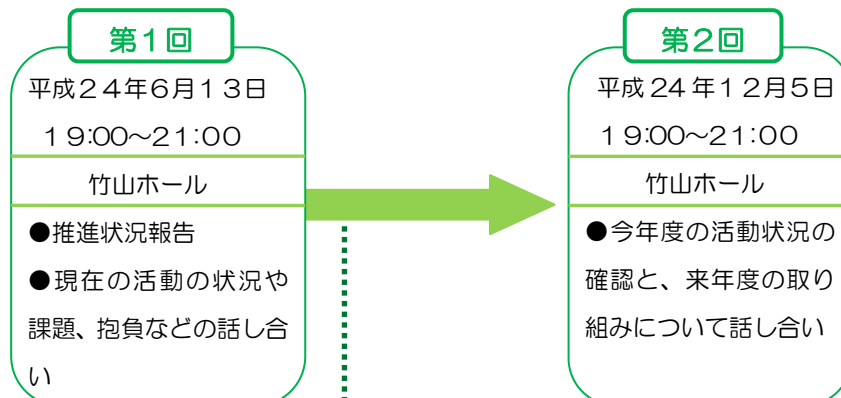


75歳~	895人
65~74歳	1,482人
15~64歳	4,485人
6~14歳	401人
0~5歳	245人
合計	7,508人

75歳~	15,259人
65~74歳	19,875人
15~64歳	116,732人
6~14歳	15,921人
0~5歳	9,876人
合計	177,663人

75歳~	352,985人
65~74歳	418,938人
15~64歳	2,445,039人
6~14歳	298,801人
0~5歳	191,501人
合計	3,707,264人

地区別計画推進委員会の開催状況



通信No.3発行

通信No.4発行

緑区地域福祉保健計画「みどりのわ・ささえ愛プラン」平成24年度地区別計画推進状況



竹山地区

安全に安心して暮らせる
「ふる里たけやま」を目指して!



竹山地区では、幼児からお年寄りまで、安全で安心して生活ができる「ふる里たけやま」を目指して、活動しています。

開所から3年が経過した**ボランティアセンター**では、車椅子の介助や日曜大工、日常生活のちょっとしたお手伝いのほか、障がい者グループの外出行事のお手伝いなども行っています。また、AED講習やレスキューベンチの活用訓練なども行い、様々な依頼に応えられるよう頑張っています。



ボランティアと一緒に、桜を楽しみました。



レスキューベンチは「担架」としても使えます。



竹山地区のふれあいの場となっています。

月に1回、お茶会もやっています。

地域のボランティアによる手作りで整備したふれあいサロン「竹多久」が、昨年3月にオープンしました。高齢者や子育て世代など、竹山に暮らすすべての人が世代を超えて自由に交流し、繋がりを深める場所になることを目指して運営しています。現在、毎週月・火・木・土の10時～16時に開館し、休館時の部屋の貸出しも行っています。

かねてから要望のあった「ベンチ」を各丁目に設置しました。買い物の途中や外出の際の一休みにご利用下さい。



竹山地区別計画推進委員会



竹山地区別計画推進委員会
平成24年7月発行 No.3

竹山地区別計画推進委員会通信

平成24年度第1回みどりのわ・ささえ愛プラン 竹山地区別計画推進委員会を、6月13日(水)に竹山ホールで開催しました。
委員会では、第2期緑区地域福祉保健計画「みどりのわ・ささえ愛プラン」の竹山地区別計画の推進に向け、昨年度の活動を報告するとともに、今年度の取り組みについて話し合いました。

みどりのわ・ささえ愛プラン 竹山地区別計画とは・・・

「みどりのわ・ささえ愛プラン」とは、誰もが身近な地域で安心して暮らしていけるよう、福祉・保健に関する課題の解決に向け、区民や団体、事業所、地域ケアプラザ、緑区社会福祉協議会、区役所などが協働で取り組む、緑区の『地域福祉保健計画』です。

この計画は、身近な地域や日々の暮らしの中で起きている課題を解決するために、11 連自治会ごとに取り組む「地区別計画」と、緑区全体で取り組む「区計画」から構成され、「竹山地区別計画」は平成23年度3月に策定しました。現在、目標の達成に向けて取り組みを進めています。

竹山地区別計画の目標

目標1 ボランティア参加等の仕組みを整えます 《つながり》

「竹山ボランティアセンター」の活動をより多くの人に紹介し、ボランティア活動への新たな参加を呼びかけていきます。

目標2 知りたい情報を知らせる工夫に取り組めます 《情報》

「竹山広報」や自治会ごとの広報誌など様々な情報提供を行っていますが、さらにわかりやすく、情報を必要とする方に届ける工夫に取り組めます。

目標3 世代間・活動団体間の交流を進めます 《つながり》

身近なところからの交流や、多くの人が集まる楽しい企画を考えるとともに、親子が参加しやすいプログラムづくりに取り組み、若い世代の参加を促します。

竹山地区別計画推進委員会について

委員会のメンバーは、連自治会や単自治会、地区社会福祉協議会、民生委員・児童委員、保健活動推進員の方々26人です。

委員会では、「みどりのわ・ささえ愛プラン 竹山地区別計画」(平成23年度～平成27年度)の推進に向けた取組内容の検討や取組状況の報告、意見交換等を行っています。



第1回推進委員会の内容について

推進委員会で報告のあった昨年度の活動状況と、今年度の取り組みに関する主な意見を紹介します。



《平成24年度第1回推進委員会の様子》

目標1 ボランティア参加等の仕組みを整えます…

○ボランティアセンターの昨年度実績は46件。内訳は、車椅子の介助や日曜大工、関連施設・業者の紹介、相談のみが多かった。

（今年度の取り組み）

- ・ボランティア意識の向上に向けた、勉強会・ボランティア交流会の開催等
- ・レスキューシート、車椅子での階段昇降の実習講習会の実施
- ・広報活動（ステッカーの取り換え補充、広報紙の発行等）
- ・「ふれあいさろん竹多久」を利用したボランティアセンター活動の可能性の検討

目標2 知りたい情報を知らせる工夫に取り組みます…

○「ささえ愛データ」（防災ささえあいカードをデータ化したもの）に基づく防災マップを作成するとともに、防災ブック（防災対策、救出・安否確認の体制・方法、水・食糧の確保等を記載）を試行的に作成し、防災訓練で検証しました。

（今年度の取り組み）

- ・「防災ブック」を全戸配布する。
- ・防災組織と地域防災拠点運営委員会による救護・救出・安否確認を行う体制を確立する。
- ・大規模地震発生時の救援活動に必要な装備品を、防災拠点に確保する。

○介護保険制度の勉強会を、各丁目毎に実施しました。

（今年度の取り組み）

- ・引き続き、各丁目の実情に応じて、勉強会等を開催していく。

目標3 世代間・活動団体間の交流を進めます…

○運動会や盆踊りなどの行事には、若い世代が参加しやすいように工夫しています。

（今年度の取り組み）

- ・引き続き、各地区が行っている行事に若い世代を誘い、世代間交流を図っていく。
- ・自治会活動等でも世代間交流がスムーズにいくよう若い世代の育成を行っていく。

○「ふれあいさろん竹多久」が3月末に開所しました。現在、詳しい運営のルールを整備しています。

（今年度の取り組み）

- ・空いている時間の活用や絵や写真等の展示、ボランティア体験での活用等を検討していく。
- ・多くの人に存在を知ってもらうよう努める。

ふれあいさろん「竹多久(ちくたく)」 (旧レストラン・カナル)

高齢者や子育て世代だけでなく、竹山の人々が世代を越えて自由に参加・交流できるサロンです。

利用日時：毎週月・火・木・土 10時～16時
利用料金：大人100円、小学生50円

今後の予定

11～12月頃に委員会を開催し、24年度の取り組みについて、振り返りの意見交換を行う予定です。

<連絡先> 竹山地区別計画推進委員会 事務局 緑区保険年金課内 TEL：930-2336



竹山地区別計画推進委員会
平成25年1月発行 No.4

竹山地区別計画推進委員会通信

平成24年度第2回みどりのわ・ささえ愛プラン 竹山地区別計画推進委員会を、12月5日(水)に竹山ホールで開催しました。
委員会では、第2期緑区地域福祉保健計画「みどりのわ・ささえ愛プラン」の竹山地区の計画の推進に向け、今年度の活動の状況を報告するとともに、次年度に向けた取り組みについて話し合いました。

みどりのわ・ささえ愛プラン「竹山地区別計画」の目標

目標1 《つながり》 ボランティア参加等の 仕組みを整えます

「竹山ボランティアセンター」の活動をより多くの人に紹介し、ボランティア活動への新たな参加を呼びかけていきます。

目標2 《情報》 知りたい情報を知らせ る工夫に取り組みます

広報「たけやま」や自治会ごとの広報紙など様々な情報提供を行っていますが、さらにわかりやすく、情報を必要とする方に届ける工夫に取り組みます。

目標3 《つながり》 世代間・活動団体間の 交流を進めます

身近なところからの交流や、多くの人が集まる楽しい企画を考えるとともに、親子が参加しやすいプログラムづくりに取り組み、若い世代の参加を促します。

第2期地域福祉保健計画「みどりのわ・ささえ愛プラン」とは・・・

「みどりのわ・ささえ愛プラン」とは、誰もが身近な地域で安心して暮らしていけるよう、福祉・保健に関する課題の解決に向け、区民や団体、事業所、地域ケアプラザ、緑区社会福祉協議会、区役所などが協働で取り組む、緑区の『地域福祉保健計画』です。

この計画は、身近な地域や日々の暮らしの中で起きている課題を解決するために、11 連自治会ごとに取り組む「地区別計画」と、緑区全体で取り組む「区計画」から構成され、「竹山地区別計画」は平成23年度3月に策定しました。

現在、目標の達成に向けて取り組みを進めています。

竹山地区別計画推進委員会について

委員会のメンバーは、連自治会や単位自治会、地区社会福祉協議会、民生委員・児童委員、保健活動推進員の方々26人です。

委員会では、「みどりのわ・ささえ愛プラン 竹山地区別計画」（平成23年度～平成27年度）の推進に向けて取り組む内容の検討や、取り組み状況の報告、意見交換等を行っています。



第2回推進委員会の内容について

推進委員会で報告のあった今年度の活動の状況と、今後に向けた取り組みについて、主な意見を紹介します。

(右写真：推進委員会の様子)



目標1 ボランティア参加等の仕組みを整えます…

- 開設後3年が経過したボランティアセンターの活動実績は148件。内訳は、車椅子の介助が最も多く、日曜大工、関連施設・業者の紹介など
- 防災訓練でAEDの操作などを実施。2月には区社協の交流会に参加予定
(今後に向けて)
 - ・レスキューシート、車椅子での階段昇降の実習講習会は、対象者を含めて要検討
 - ・広報活動(ステッカーの取り換え補充、広報紙の発行等)は定期的実施
 - ・「ふれあいさろん竹多久」を利用した活動の検討

目標2 知りたい情報を知らせる工夫に取り組みます…

- 防災ブック No.1(普段からの震災対策、発生時における初動対策等を記載)を全戸配付
- 総合防災訓練・地域防災拠点訓練では、被災状況申告書を活用した情報収集訓練、活動部隊員への給食・給水活動、活動部隊の編成などを実施
(今後に向けて)
 - ・総合防災訓練の実施状況を検証し、防災ブックに掲載した内容等の啓発を強化する。
 - ・「防災ブック No.2(被災生活時対策、復興対策)」を編纂し25年度に全戸配付する。
 - ・介護保険制度の勉強会を、各丁目毎の実情に応じた内容で開催する。

目標3 世代間・活動団体間の交流を進めます…

- もちつき、夏祭り、運動会などの行事には、若い世代への声かけをしている。
- 子ども達向けのボランティアカードを作成し、自治会表彰を行うなどをしている。
(今後に向けて)
 - ・引き続き、世代間交流を図るため、各丁目の行事に若い世代を誘っていくが、ボランティアカードの活用などの工夫もしていく。
 - ・管理組合とともに行事を行うことも検討していく。
- 「ふれあいさろん竹多久」は、月・火・木・土の10時～16時に開館。10月までに2,348人が利用。休館時は貸出している。
- 福祉まつりで行ったアンケートでは、知らない人が半数以上いた。
(今後に向けて)
 - ・「ふれあいさろん竹多久」の周知・PRを強化していく。
 - ・休館日利用として文化行事やボランティアの催し等を促進する。(ふれあいさろん竹多久の様子)



来年度の予定

5～6月頃に委員会を開催し、25年度の取り組みについて、意見交換を行います。

<連絡先>

竹山地区別計画推進委員会 事務局
緑区保険年金課内 TEL: 930-2336